

105-242

問題文

68歳男性。認知症の検査のため入院。問診に加え、ドパミントランスポーターシンチグラフィーを行うことになった。担当医より薬剤部に放射性医薬品の準備依頼があった。

問242

この患者の検査に使用する放射性医薬品はどれか。1つ選べ。

1. 過テクネチウム酸ナトリウム(^{99m}Tc)注射液
2. フルデオキシグルコース(^{18}F)注射液
3. クエン酸ガリウム(^{67}Ga)注射液
4. 塩化インジウム(^{111}In)注射液
5. イオフルパン(^{123}I)注射液

問243

この検査で使用する画像診断法はどれか。1つ選べ。

1. X線CT (X-ray computed tomography)
2. MRI (magnetic resonance imaging)
3. PET (positron emission tomography)
4. SPECT (single photon emission computed tomography)
5. IVR (interventional radiology)

解答

問242：5問243：4

解説

問242

選択肢 1 ですが

過テクネチウム酸ナトリウム (^{99m}Tc) は、脳障害 や 甲状腺疾患 等の診断に用いられます。認知症診断では用いられません。

選択肢 2 ですが

フルデオキシグルコース (^{18}F) は、悪性腫瘍の診断に広く用いられます。認知症診断では用いられません。

選択肢 3 ですが

クエン酸ガリウム (^{67}Ga) は、悪性腫瘍、炎症性病変の診断に用いられます。認知症診断では用いられません。

選択肢 4 ですが

塩化インジウム (^{111}In) は、骨髄シンチグラムによる造血骨髄の診断に用いられます。認知症診断では用いられません。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 5 です。

類題

問243

イオフルパンは、SPECT 検査診断用放射性医薬品です。

ちなみに

IVR は、X 線透視や CT などの画像でからだの中を見ながらカテーテルや針を使って行う治療のことです。

以上より、正解は 4 です。